

報道関係者各位
ニュースリリース

2013年7月29日
特定非営利活動法人 Check
<http://www.checktoilet.com/>

NPO 法人 Check、芦花高校 17 名の生徒とスマホを使った奉仕体験授業を開催

調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！
～ Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？ ～

みんなでつくるユニバーサルデザイントイレマップ「Check A Toilet
(<http://www.checktoilet.com/>)」を運営する特定非営利活動法人 Check
(本社：東京都世田谷区、代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check) は、
東京都立芦花高等学校 (東京都世田谷区、校長：山下敬緯子、以下、芦花高校
) とスマートフォンを使った奉仕体験授業
「調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！
～Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？～」を、8月5日・22日の
2日間、行うことになりました。

■背景

花火大会、お祭り、海水浴場などの野外イベントで、必ず起きるのがトイレ問題。イベント会場付近のトイレは長蛇の列ができ、健常者でさえもトイレを探すことに大変苦勞します。

一方、イベント主催者にとって、数時間・数日のイベントのために、バリアフリー情報を公開する(予算を付ける)ことは容易ではありません。そのため、多機能トイレを利用する高齢者・障がい者・子育て中のパパママにとって、イベントは参加しづらい・参加を諦めることが多々あります。



■ 芦花高校 1 年生の奉仕体験授業とは

芦花高校の奉仕体験授業は、1 年生が参加する授業として、保育園や地域の NPO の協力を得て 2007 年から行われています。地域で活動する様々な団体 (NPO・ボランティア) と連携して、夏休みを中心に、生徒が体験活動を選んで参加するスタイルになったのは 2011 年からです。

今年度、NPO 法人 Check は初めて参加することとなりました。

今回の奉仕体験授業は、高齢者・障がい者・子育て中のパパママが安心して、調布市花火大会を観覧いただくための地域貢献授業で、「調布市花火大会の多機能トイレマップをみんなで作ろう！〜Twitter で広めよう、成果がどこまで伝わるか！？〜」をテーマに、8月5日・22日の2日間、授業を行います。事前授業とスマートフォンを使った実地活動の後、Twitter を活用して、調布市花火大会のトイレマップを広めるアクションをしていただきます。

☆日程☆

第1回 8月05日(月) 15:00〜17:00 @芦花高校

事前授業：なぜ、トイレが必要か？、スマホの使い方、エリアのルート決め等

第2回 8月22日(木) 9:00〜11:00, 13:00〜17:00

午前：実地活動 @調布駅周辺

午後：Twitter を活用した授業 @芦花高校

※講師：NPO 法人 Check 代表理事 金子健二

※取材ポイント（事前授業、実地活動：スマホを活用した授業、Twitter を使った授業）

◇開催場所

東京都立芦花高等学校：東京都世田谷区粕谷3-8-1 / 調布駅 周辺

◇参加者

東京都立芦花高等学校 1年生 17名、NPO 法人 Check 関係者

◇取材のお申込は下記まで、

TEL：080-4162-4550 メール：report@checkatoilet.com 担当：金子

特定非営利活動法人 Check <http://www.check.or.jp/>

代表理事：金子健二

事業体：特定非営利活動法人（NPO 法人）

事業内容：

- (1) トイレマップ制作を通じての市民活動支援事業
- (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業
- (3) 社会貢献活動に関する普及啓発事業

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。